

平成28年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

1. 事業の状況

国指定重要無形民俗文化財「長浜曳山祭の曳山行事」のユネスコ無形文化遺産への登録を願って、市民機運の醸成、普及啓発、世界へ向けての情報発信を図る事業を展開した。その中で、平成28年11月30日(水)にユネスコ無形文化遺産登録が決定され、それを新たな出発点と捉え、曳山祭の保存伝承に向けて事業を行った。

さらに、曳山博物館を活動の拠点として、「長浜曳山祭の曳山行事」および滋賀県指定有形民俗文化財「長浜曳山祭の山車附山蔵」の保存伝承に資するため、曳山祭行事の助成・協賛に関する事業や伝統工芸技術の伝承・育成に関する事業を展開した。

また、子ども歌舞伎の伝承発展に努めるとともに伝統文化の調査研究および資料の収集・保管・活用を進めた。

(1) 曳山祭支援事業

○曳山祭公開補助金を長浜曳山祭総当番に交付した。また、総当番や山組と連携して警備計画の作成や警察など関係機関への申請、障害物の調査・排除、本日の交通警備の支援、三番叟や山曳きボランティアの受付、曳山祭自町狂言マップ作成とホームページへの掲載などを行い、曳山祭の公開と執行を支援した。

・期間：4月9日から4月17日

・太刀渡り：長刀組

【出番山】 翁山、孔雀山、常磐山、萬歳樓

【暇番山】 春日山、諫鼓山、月宮殿、青海山、壽山、猩々丸、高砂山、鳳凰山

○平成28年度長濱ゆう歌舞伎の公演に対し補助金を交付した。

平成28年11月12日(土)、13日(日)

○「日本のまつり in ながはま 2016」にあわせて「長浜曳山祭 秋の特別公開」を行い、春に公開した子ども歌舞伎及び長刀組の太刀渡り行事に支援を行った。平成28年10月29日(土)、30日(日)

(2) 三役修業塾事業

○豊澤千賀龍氏、豊澤賀祝氏の指導のもと、塾生15人が義太夫・三味線の稽古を行った。(年間97回)

○本年度より「振付」部門を開講。岩井小紫氏の指導のもと、塾生6人が振付の稽古を行った。(年間20回)

○三役修業塾生を長浜曳山祭、垂井曳山祭、米原曳山祭に派遣し、現場経験を積むとともに、各地域における子ども歌舞伎の公開に貢献した。

・長浜曳山祭(翁山) 2名 竹本甚、豊澤賀祝

・長浜曳山祭(孔雀山) 1名 豊澤龍三

- ・長浜曳山祭（常磐山） 2名 竹本龍一、豊澤翁賀
- ・長浜曳山祭（萬歳樓） 1名 竹本龍豊
- ・垂井曳山祭（攀鱗閣） 2名 竹本壽、豊澤賀祝
- （紫雲閣） 2名 竹本龍豊、豊澤湊祝
- （鳳凰山） 2名 竹本賀桐、豊澤龍三
- ・米原曳山祭（寿山） 2名 竹本龍一、豊澤賀祝

○ 塾生による義太夫・三味線の発表会を開催し、日頃の研鑽の成果を披露した。それぞれ約30名位の聴講者があった。

- ・ 6月19日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 「絵本太功記 尼ヶ崎の段（前）」 竹本千鳳、豊澤龍三
 - 「絵本太功記 尼ヶ崎の段（中）」 竹本寿、豊澤賀桜
- ・ 7月17日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 番外、壽式三番叟 太夫 七里八須子、三味線 中川大吾
 - 「仮名手本忠臣蔵七段目 祇園一力茶屋の段」 竹本美帆賀、豊澤楓賀
 - 「新版歌祭文 野崎村の段」 竹本甚、豊澤龍三
- ・ 8月28日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 「奥州安達ヶ原三段目（前）」 竹本龍一、豊澤湊祝
 - 「奥州安達ヶ原三段目（後）」 竹本賀桐、豊澤賀祝
- ・ 12月4日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 「壺坂観音霊験記」 竹本千鳳、豊澤龍一
 - 「御所桜堀川夜討 弁慶上使の段」 竹本龍一、豊澤湊祝
- ・ 1月 15日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 「壽式三番叟」竹本龍豊、竹本千鳳、竹本美帆賀、
豊澤龍三、豊澤湊祝、豊澤楓賀
 - 「奥州安達ヶ原 袖萩祭文」 竹本賀桐、豊澤賀桜
- ・ 2月19日（日）14：00～ 曳山博物館伝承スタジオ
 - 「恋飛脚大和往来 新口村」 竹本壽、豊澤楓賀
 - 「増補生写朝顔話 宿屋の段」 竹本美帆賀、豊澤龍三

○ 三役修業塾生協力のもと三番叟を披露し行事に協力した。

4月2日（土）孔雀山（山車修理完成披露）

5月22日（日）大阪駅（地域伝統芸能フェスティバル）

9月24日（土）、25日（日）ツーリズムEXPOジャパン 2016

○ 平成28年度「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」を当財団が受賞するにあたり、「日本の祭 in ながはま2016」において二人三番叟を披露した。また、浄瑠璃は三役修業塾が行った。

（3）曳山祭保存伝承事業

○ 伝承委員会は長浜西中学校1年生（167名）が行う曳山文化教室に協力し、曳山博物館の見学や曳山祭の行事の体験など、生徒の体験学習を支援し伝承活動を行った。

- ・ 4月13日（水）長浜曳山祭の事前学習「長浜曳山祭の由来」の講義
 - ・ 4月14日（木）山蔵見学
 - ・ 6月11日（土）長浜曳山祭「籤取り」「裸参り」体験講座
 - ・ 11月9日（水）曳山博物館探検
 - ・ 2月 8日（水）曳山ワークショップ
- 長浜西中学校の伝統文化教室の講師を職員が行った。
- 長浜南中学校1年生（111名）へ「長浜の伝統文化に関する講演」の講義を職員が行った。10月4日（火）
- 長浜北中学校1年生（35名）へ曳山博物館の見学や長浜曳山祭の講義を職員及び伝承委員が行った。11月9日（水）
- 長浜曳山祭囃子保存会が行う祭礼でのシャギリ公開や各種行事での演奏出演、太鼓などの楽器の修理、笛の購入、後継者育成などの活動に対し補助金を交付した。
- 全日本郷土芸能協会に加盟し、各団体と活動状況等について情報交換を行った。
- 近江のまつりフォーラム(滋賀県内のまつり関係者が集う)に参加し、それぞれの祭の保存・伝承についての課題を議論するなどの学習会に出席した。
- ・ 6月23日（木）14：00～ 日牟礼神社
 - ・ 1月24日（火）15：00～ 長浜市曳山博物館

＊ユネスコ無形文化遺産登録関連

「長浜曳山祭」のユネスコ無形文化遺産登録を機に、国内外に向け広く情報を発信し、認知度向上と地域経済の活性化が図れるよう広報宣伝を行った。また、登録を新たな出発点と捉え、曳山祭の保存伝承活動に活性化させる普及啓発事業を行った。

○子ども歌舞伎教室

長浜曳山祭の振付をされている講師を招聘し、長浜市内の小学生を対象にした子ども歌舞伎体験教室を平成29年3月20日（月・祝）に開催した。

参加者数：33名（内女兒20名） 高月小・小谷小他

○しゃぎりキャラバン

長浜曳山祭囃子保存会と連携して催事に参加し、しゃぎりの演奏を披露した。

（近世城下町まつり、湖北口腔保健フェスティバル、長浜なつまつり他）

○山組マンスリー

曳山博物館を活用し13の山組が月替わりで長浜曳山祭を独自の企画で紹介した。

（プレ企画）平成28年4月月宮殿

（プレ企画）平成28年5月萬歳樓

- ・平成28年6月長刀組・平成28年7月青海山・平成28年8月孔雀山
- ・平成28年9月諫鼓山・平成28年10月常磐山・平成28年11月猩々丸
- ・平成29年1月鳳凰山・平成29年2月高砂山・平成29年3月翁山

○広報・宣伝・PR

- ・長浜曳山祭ガイドブック（A5冊子75,000部）を制作し、長浜市全戸に配布するな

どの長浜曳山祭の情報発信を行った。

・「曳山のまちー小学生低学年向け」(A4 冊子 5,000 部)「曳山のまちー小学生高学年・中学生向け」(A4 冊子 10,000 部)ワークシートを制作し、長浜市内の小中学生に配布した。

・長浜曳山祭開催 PR として長浜駅前に看板を設置し、情報発信を行った。

・東京観音ハウスで、長浜曳山祭の PR を行った。

○その他

・ユネスコ無形文化遺産登録を記念して 12 月 1 日(木)に記念セレモニーを開催した。

・12 月 3 日(土)にユネスコ無形文化遺産登録の記念行事を行った。

・映像放映 ・鏡割り ・餅まき ・長濱八幡宮参拝

・曳山博物館入館料無料

○曳山交替式の際、全 4 基の全景写真の撮影と収蔵曳山の細部ならびに懸装品の写真撮影を行い、文化財の写真資料としてデジタルの記録媒体に保存し、曳山関連資料の充実を図った。

(4) 曳山の保存修理支援事業

○曳山本体の保全を図るため燻蒸を行った。9 月 1 日(木)閉館後

○長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会により曳山行事の保存伝承に関すること、ならびに曳山等の修理について専門的見地からの検討と指導を受けた。

・第 1 回専門委員会

5 月 16 日(月) 15:00~17:00 曳山博物館 1 階伝承スタジオ

・第 2 回専門委員会

12 月 1 日(木) 15:00~17:15 曳山博物館 2 階会議室

・第 3 回専門委員会

3 月 22 日(水) 15:00~17:00 曳山博物館 2 階会議室

・春日山山蔵調査

4 月 11 日(月) 10:00~12:00 村田信夫専門委員

・青海山幕調査

1 月 20 日(金) 13:30~16:00 藤井健三専門委員

・壽山修理山車修理事前調査

2 月 15 日(水) 13:30~15:30 村田信夫専門委員

・青海山・壽山山車修理事前調査

2 月 21 日(火) 10:45~15:30 久保智康・山崎剛専門委員

○全国山鉾屋台保存連合会に出席し、全国各団体と活動状況などについて情報交換を行った。

・総会および研修会(3名出席)

11 月 22 日(火)・23 日(水) 熊本県八代市

・修理技術者研修会(2名出席)

5 月 21 日(土)・22 日(日) 三重県犬山市

・常任理事会（1名出席） 2月16日（木） 京都八坂神社

○曳山博物館の収蔵庫、山組の山蔵の温湿度調査を行い、データ集積を行った。

○修理ドックを修理の場所として提供した。

・渡邊美術工藝：福井県小浜市「放生祭 清滝区 大津町 山車」、
三重県桑名市「石取祭 西船馬町 祭車」

(5) 曳山博物館の展示等に関する事業

①収蔵曳山の入れ替えを行う曳山交替式を山組・総当番の協力のもと曳山祭本番の登り山の形式に準じ、幕類など祭りと同様の飾り付けで行なった。

実施日 4月2日（土）

・搬出する曳山：月宮殿、常磐山、翁山、萬歳樓
(修理ドックより搬出) 孔雀山

・搬入する曳山：月宮殿、諫鼓山、青海山、春日山

②新たに収蔵した曳山4基を曳山祭に合わせて、4月3日（日）から4月24日（日）までの間、正装で公開をした。

③4月25日（月）以降は、文化財保護の観点から3ヶ月交替で曳山2基を常設展示により公開した。展示替は、山組の協力を得て行った。

・春日山、月宮殿（4月～6月・10月～12月）

・青海山、諫鼓山（7月～9月・1月～3月）

④10月29日（土）30日（日）「日本の祭り in ながはま 2016」開催に合わせて収蔵曳山4基を10月22日（土）から11月6日（日）までの間、正装で公開をした。

・春日山・月宮殿・青海山・諫鼓山

⑤企画展・特別展の開催

【企画展】

1) ヌネコ無形文化遺産登録推進展示「長浜型曳山の系譜－その成立と伝播－」

会期：平成28年4月1日（金）～平成28年5月8日（日）

入館者数：4,634人

長浜曳山祭の曳山に代表される芸山形式は、18世紀前半にその形を整え、19世紀にかけて現在の曳山へと進化してきた。この芸山形式は「長浜型」と呼ばれ、その多くは大工・藤岡和泉とその一門によって製作され、各地に伝播していった。本展示では、関連資料から、長浜型曳山の成立過程と伝播、さらにその文化的重要性を再認識していただくことができた。

2) ヌネコ無形文化遺産登録推進展示「秀吉と長浜曳山祭」

会期：平成28年5月9日（月）～7月3日（日）

入館者数：4,624人

長浜開町の恩人である羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）は、長浜曳山祭の開基伝承とも重なっている。その秀吉は長浜城主のころ、子どもが誕生、その喜びに町衆に砂金を配り、それを基金に曳山を曳きまわしたという曳山起源譚は、歴史的信憑性は低い。しかし長浜町衆の秀吉に対する敬慕の情は江戸時代を通じて絶えることがなか

った。本展示では、現在も脈々と伝わる秀吉への思いや、秀吉の開基伝承を持つ曳山祭の原初の姿を残すといわれる太刀渡りについて、現行の習俗とあわせて紹介した。

3) ヌネスコ無形文化遺産登録推進展示「湖北は曳山のまち」

会期：平成 28 年 7 月 4 日(月)～平成 28 年 9 月 11 日(日)

入館者数：5, 287 人

長浜曳山祭に代表される芸山は「長浜型」と呼ばれ、江戸時代後期から明治時代にかけて広く伝播した。特にここ湖北地方においては、長浜曳山祭から派生した曳山文化が浸透していることを示すように、各地に曳山が製作された。本展示では、これら湖北地方に広がる曳山文化の姿をリアルに伝えるとともに、芸山という独自の文化がどのように拡散していったのか、その足跡を追求することができた。

4) ヌネスコ無形文化遺産登録推進展示「長浜曳山祭－子ども歌舞伎と祭礼行事を知る」

会期：平成 28 年 9 月 12 日(月)～平成 28 年 10 月 23 日(日)

入館者数：3, 560 人

国指定重要無形民俗文化財「長浜曳山祭の曳山行事」の大きな柱である「子ども歌舞伎(狂言)」と「祭礼行事」について、本展示では、ともすれば見逃しがちな諸行事の由来、謎を解き明かした。また、昭和 20 年代まで湖北地域において広く行われてきた子ども歌舞伎を紹介するとともに、この地域に浄瑠璃をはじめ三味線、振付などの豊かな文化的土壌によって長浜曳山祭の子ども歌舞伎がささえられていたことを紹介した。

5) ヌネスコ無形文化遺産登録記念展示「ユネスコ無形文化遺産登録の意味するもの」

会期：平成 28 年 10 月 24 日(月)～平成 28 年 12 月 11 日(日)

入館者数：5, 353 人

400 年以上の歴史を持つ長浜曳山祭は、これまで公権力の規制や干渉などの幾多の障害を乗り越えて現在に至る。本展示では、その長い歩みの中から戦後の復興を取り上げた。昭和 23 年に市制 5 周年記念として、戦後初の子ども歌舞伎を上演するにあたり尽力された小谷村丁野の振付師・富士松山楽を紹介することができた。あわせて、江戸時代から昭和初期の長浜曳山祭の歴史と様相を関連資料から紹介した。

・ 12 月 3 日 (土) 長浜曳山祭記録上映会

6) 企画展「酉(とり)」

会期：平成 28 年 12 月 12 日(月)～平成 29 年 1 月 29 日(日)

入館者数：2, 143 人

平成 29 年の干支である「酉」をテーマとして、本展示では、長浜曳山祭の諫鼓山の胴幕や亭飾りにも登場する鶏や、新年を迎えるにふさわしい吉祥をあらわす鶴など、酉にちなんだ作品を紹介した。

7) 企画展「百花繚乱」

会期：平成 28 年 1 月 30 日(月)～平成 28 年 3 月 12 日(日)

入館者数：4, 915 人

全国各地の山車を彩る幕や絵画などの装飾品には、四季折々の美しい花々が鏤めら

れている。長浜曳山祭においても幕や金具、彫刻、絵画の中には数多くの花をみることができる。本展示では、幕に織り出された幾何学的な花から、舞台障子や御簾に描き出された色彩豊かな花まで、曳山を彩る花々の一端を紹介することができた。

8) エネコ無形文化遺産登録記念展示「曳山を支える人たち」

会期：平成 29 年 3 月 13 日(月)～平成 29 年 3 月 31 日

入館者数：1, 834 人

これまでの長浜曳山祭の歴史の中で、曳山の巡行や子ども歌舞伎の中止だけでなく、祭さえ中止になることが幾度となくあった。それでも先人たちの祭に対する誇りと情熱によってこれまで連綿と続けられてきた。それぞれの時代の波に翻弄されながらも、ときに柔軟に対応し、変化しながら現在の祭を作り上げてきた。本展示では、長年にわたり、長浜曳山祭に尽力されてきた人々を中心に、今なお支え続ける人たちの功績を関連資料から紹介した。

【常設展示】

会期：平成 28 年 4 月 1 日（火）～平成 29 年 3 月 31 日（木）

- ・長浜の旧家の土蔵から発見された小判(一部)、カラクリ箆笥などの展示
- ・最古級の仏壇（和泉仏壇）を展示（平成 29 年 3 月 16 日(木)～）

(6) 広報・宣伝

○企画展などの催事を周知するため、各種媒体による広報を行った。

- ・新聞社への資料提供を展示ごとに行い広く広報に努めた。(年 8 回)
- ・年間展示計画および各特別展・企画展のチラシを制作し、市内観光施設や駅、県内の博物館、長浜城友の会などに配布し PR に努めた。(年 8 回)
- ・市の「広報ながはま」に掲載し、長浜市民への周知に努めた。(年 5 回)
- ・特別展・企画展の PR 用看板を制作し、曳山博物館に設置した。(年 8 回)
- ・曳山博物館ホームページを更新して情報発信した。(随時)
- ・長浜曳山文化協会の公式フェイスブックを開設し、情報発信した。(随時)
- ・曳博だよりを発行し、曳山博物館の活動を紹介した。(年間 4 回)
4月号、7月号、10月号、1月号
- ・特別展・企画展をまとめた図録年報を発行した。(500冊)
- ・長浜浪漫パスポート(4/1～12/26・3/14～3/31)・盆梅パスポート(1/7～3/13)へ参画し、近隣施設と連携して誘客に努めた。
- ・長浜スクールパスポート事業に参画し、小中学生・高校生の教育旅行者への誘客に努めた。
(利用者数：612人)
- ・市民サロン(旧喫茶スペース)を活用し、曳山祭関連の展示を行った。
「五月人形めぐり」5月1日(日)～5月22日(日)
「長浜曳山祭フォトコンテスト展」7月11日(月)～10月31日(月)
寄贈「千羽鶴」7月11日(月)～3月31日(金)
「お雛さまめぐり」2月6日(月)～3月10日(金)

(7) 各種研修事業

- 市内の中学校からの職場体験を受け入れし、生徒たちが博物館の仕事を体験した。
 - ・ 7月 7日 (木) ～ 12日 (火) 長浜西中学校 2名
 - ・ 10月24日 (月) ～26日 (水) 長浜南中学校 2名
 - ・ 11月7日 (月) ～9日 (金) 長浜北中学校 2名
- 丁稚・弟子入り体験を受け入れ、生徒たちが博物館の仕事を体験した。
 - ・ 5月24日 (火) 大垣市安八町 東安中学校2年生 3名
 - ・ 5月26日 (木) 梅花高等学校1年生 7名
 - ・ 6月2日 (木) 摂津市立第三中学校3年生 6名
 - ・ 11月15日 (火) 広尾学園高等学校2年生 2名
- 祭りやオコナイなどの地域文化の普及のため、職員が市内各地の人権研修や講座に出講した。(全10回)
 - ・ 4月23日 (土) 垂井町
 - ・ 5月21日 (土) 長浜市ユネスコ協会研修会 (市役所)
 - ・ 6月3日 (金) 三菱樹脂 OB 会
 - ・ 6月9日 (木) びわ公民館
 - ・ 8月26日 (金) レイカディア大学 (草津)
 - ・ 10月6日 (木) 淡海観光ボランティアが`ト`連絡協議会湖北ブロック交流研修会
 - ・ 10月23日 (日) びわ町八木浜
 - ・ 1月15日 (日) 近江歴史回廊推進協議会 (石部)
 - ・ 1月17日 (火) 淡海観光ボランティアが`ト`連絡協議会湖北ブロック (市役所)
 - ・ 3月23日 (木) 田根郷土史会
- 曳山博物館の展示説明ボランティアが土日を中心として入館者に展示説明を行った。
- 視察・研修対応
 - 5月27日 (金) 秋田市企画財政部企画調整課 5名
 - 6月1日 (水) 長浜市産業観光部 管理職研修 17名
 - 6月14日 (土) 滋賀県初任者研修【学校・地域研修】第一湖北ブロック研修
 - 7月27日 (水) 28日 (木) 公益財団法人ポーラ美術振興財団の取材対応 5名
 - 9月30日 (金) 大垣市文化財保護協会研修会 21名
 - 11月15日 (火) 福井県高浜町 10名
 - 2月21日 (火) 大東市教育委員会 5名
 - 3月23日 (木) ワシントン大学生 50名

(8) 施設維持管理業務

- 指定管理者制度に基づく受託団体として、曳山博物館の適正な維持管理に努めた。
 - ・ 建設以来17年が経過する施設及び設備の修繕など維持管理に加え、展示ケースや寄託資料の良好な環境を保つため、温湿度の計測を毎月行い点検した。
 - ・ 利用者アンケートを実施して入館者の満足度の把握に努めた。
- (平成28年4月1日～平成29年3月31日 アンケート記入者数 162人)

- ・ミュージアムショップは委託販売で運営した。
- ・伝承スタジオ、ワークルーム、広場、会議室の貸出を行なった。

(9) 入館者および各施設の利用実績（前年）

○総入館者数	32,350人(30,782人)
うち大 人	26,358人(25,911人)
小中学生	1,071人(623人)
無料者数	4,921人(4,248人)
○伝承スタジオ	204件(184件)
○広場	31件(29件)
○ワークルーム	263件(264件)
○会議室	123件(108件)

2. 三役会・理事会・評議員会等の開催

(1) 三役会（理事長・副理事長・常務理事）

- 6月 6日（月）午前10：00～大塚産業、午後13：00～ 長浜市役所
 - ・平成27年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業・収支決算報告に関する理事会および評議員会への提出資料について個別に協議した。

(2) 理事会

- 6月7日（火）14：00～15：00 曳山博物館2階会議室
 - 出席理事数 10名 監事 1名
 - ・平成27年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業報告および収支決算の件
 - ・公益財団法人長浜曳山文化協会評議員会開催の件
 - ・公益財団法人長浜曳山文化協会事務局長選任の件
 - 3議案共に承認・可決した。
- 7月11日（月）14：00～14：40 曳山博物館2階会議室
 - 出席理事数 13名 監事 1名
 - ・公益財団法人長浜曳山文化協会理事長、副理事長及び常務理事選定の件
 - 1議案を可決した。
- 3月27日（月）14：00～15：15 曳山博物館伝承スタジオ
 - 出席理事数 13名 監事 1名
 - ・平成29年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業計画および収支予算の件
 - ・公益財団法人長浜曳山文化協会評議員会開催の件
 - 2議案共に可決した。

(3) 評議員会

- 6月24日（金）10：30～11：40 曳山博物館伝承スタジオ

出席評議員数 12名

- ・平成27年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業報告および収支決算の件
 - ・任期満了に伴う公益財団法人長浜曳山文化協会評議員選任について
 - ・任期満了に伴う公益財団法人長浜曳山文化協会理事及び監事選任について
- 3議案共に可決した。

○3月27日（月）16:00～17:00 曳山博物館伝承スタジオ

出席評議員数 13名

- ・平成29年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業計画および収支予算の件
- 1議案を可決した。

(4) 監査

○5月26日（木）9:00～10:30 曳山博物館会議室

監事 2名

- ・平成27年度公益財団法人長浜曳山文化協会事業報告および収支決算の件